

# わ

さーくる 障害理解 検索

発行責任者  
特定非営利活動法人  
相模原市障害児者福祉団体連絡協議会  
会長 鈴木秀美  
相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)  
TEL & FAX 042-755-5282 (直通)  
題字 相模原市長 加山俊夫

## 《平成29年度定期総会開催報告》

平成29年6月11日(日)に、平成29年度NPO法人れんきょうの定期総会が、あじさい会館6階の展示室にて開催されました。

当日は、梅沢副市長様、市議会沼倉議長様をはじめ、社会福祉協議会、社会福祉事業団、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、ボランティア協会から来賓の皆様にご多忙の中を参加していただきました。また、「れんきょう」加盟団体から選出された代議員の皆様には付議された議案を審議していただきました。



総会ではあしたば会榛沢さんの司会、腎友会館盛さんの議長、やまびこ会川井さんの書記の役割の下、スムーズに進行し、提案議案は全て承認されました。

総会に際しての会長挨拶は次のとおりです。

「NPO法人れんきょう」の平成29年度総会に際しましてご挨拶申し上げます。ご来賓の皆様にはご多忙のところご臨席いただきまして有難うございます。また、代議員の皆様にも加盟団体を代表して出席いただきお礼申し上げます。

「NPO法人れんきょう」は平成27年3月に、従来の任意団体からNPO法人となり2年余り経過しました。我々の活動の目的は障がい者が安心して安全に暮らせる社会を目指すことにあります。そのための事業として、市民の皆様には障がいを理解してもらおう啓発活動があります。

昨年5月に市の情報発信サイト「さーくる」がスタートし、「れんきょう」がその運營業務を受託しています。このサイトには種々の障がいの特性や望ましい対応方法の説明があります。その他に、障がい者団体等が主催する講演会、研修会、スポーツ大会等のイベント情報も掲載されています。しかしながら、このサイトへのアクセス数は満足できるものではなく、今後とも関係機関・団体の協力の下、相互アクセスを進める等閲覧者の増加促進を図る必要があります。



また、相模原ボランティア協会と共に毎年開催している「ほかほかふれあいフェスタ」は、障がい者、ボランティア、市民の方々との交流を通じて障がい理解を深める機会となっています。

しかし、残念ながら昨年7月に「津久井やまゆり園」で多数の障がい者が死傷した大変悲しい事件が起きました。このような悲惨な事件を二度と繰り返さないためには、障がいの有る人も、無い人もお互いの生き方を理解、尊重し合うことが大切と思います。社会には障がいの有る人も一緒に暮らしているのが普通の状態で



あり、幼少期から障がいの有る人が身近なところで暮らしている様子を見て、障がい理解を身をもって感じてもらえるのではないのでしょうか。

神奈川県では、障がいの有る人も出来るだけ地域の普通の学校と一緒に学ぶインクルーシブ教育を推進することになっています。今後、それが障がい理解を一層推進させてくれるものと期待しています。

「れんきょう」としても、従来と変わらず障がい者の暮らし易い社会環境に近づけるよう活動を続けます。会員の皆様、関係団体の皆様の変わらぬご指導、ご支援をお願い致します。

## 《ほかほかふれあいフェスタ 2017 の開催案内》

ほかほかふれあいフェスタは障がいのある人、その人達を支援するボランティア、市民の皆様が参加し互いに交流を図ることにより、障がいとは？、ボランティア活動とは？を考え、理解を深め合い、誰もが住みやすい街づくりと障がい福祉の推進を目指しています。

本年度も10月14日(土)にあじさい会館とウェルネスさがみはら前広場で、12月9日(土)に相模大野駅北口のペDESTリアンデッキで開催される予定です。イベント内容はあじさい会館では、車椅子や点字・拡大写本等の体験コーナー、子ども達に喜んでいただけるスタンプラリー、障がいのある人達の合唱、映画上映(「ぼくはうみがみたくなりました」)、特別支援学校の生徒さん達の作品展示等が予定されています。

また、ウェルネスさがみはら前広場では、ミニSLの運行、車椅子ダンス、阿波おどり、よさこいソーラン、チアリーディング、楽器演奏、大道芸等のパフォーマンスが披露される予定です。

是非、多くの方々に来場いただき、体験コーナー、作品鑑賞、映画鑑賞を通じて障がい理解を深めるとともに、障がい者、ボランティアとの交流を楽しむ一日を過ごしていただきたいと思います。

# 《「さーくる」の平成28年度アクセス状況報告について》

【平成28年5月18日～平成29年3月31日】

## 1. セッション数（総訪問回数）

総訪問回数つまりアクセス回数は、591回で、立ち上がりの5月、6月を除く7月から平成29年3月までは月平均992回で、1,000回を切っていたが、新年度4月、5月は1,111回と1,000件をオーバーしている。

## 2. 識別ユーザー数（訪問してくれた方の数）

6,361人で、立ち上がりの5月、6月を除いた月平均では734人である。同様に新年度の4月・5月の月平均では839人で少し上向いている。

## 3. ページビュー数（見られたコンテンツ数つまり記事の数）

見られた記事の延べ回数は31,355回であり、見られた記事の年間ランキングベスト10は以下のとおりである。

- ① 相模原市の障害者団体 (2,222回)、② イベント情報 (976回)、③ れんきょうとは (615回)、
- ④ 相模原市自閉症児・者親の会 (565回)、⑤ 第31回障害者による書道・写真コンテスト募集 (518回)、⑥ 障害者スポーツ (472回)、⑦ 発行物～機関紙等～ (440回)、
- ⑧ 障害を理解していただくために (426回)、⑨ 一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会 (406回) ⑩ (障害者スポーツ) 競技紹介 (392回)

## 4. 新規セッション率（初めて訪問する人の比率）

平成28年度平均66%である。初めて見てくれる人を多くすることはアクセス数全体を多くすることにつながります。ただ、新年度に入って、4月、5月の平均が69%と若干上昇している。

## 5. 最近の傾向

最近の傾向を新年度の4月、5月実績で見ると、① この「さーくる」を、パソコンでアクセスする人が51%であるのに対してスマホでアクセスする人は47%と、従来の20%からスマホが大幅に上昇している。ユーザー層に拡がりが出てきたことは今後に期待が持てる。②他団体のホームページからリンクしてアクセスする人が増えている。リンクしてくる相手先は相模原市、相模原市社会福祉協議会、相模原やまびこ会、社会福祉事業団です。

## 《自民党、公明党、民進党との定例懇談会開催》

本年も7月末に予定されております公明党との政策懇談会を始めに、自民党、民進党との懇談会も開催が予定されております。

各党への要望に関しましては、例年永続を希望しています医療費助成、重度障害者等福祉手当、福祉タクシー利用助成、自動車燃料費助成に関わる内容の他に、2月に行われた福祉施策懇談会で要望が出ていた内容を精査して追加事項とします。

懇談会の内容は次号にて報告いたします。

# 事務局 たり

## 《傘下団体での講演会の開催案内》

### 『障がいのある子の成長に合わせたライフプラン』

「その時どんな制度が使えるのか？どんな支援を受けられるのか？」

講師：又村あおい氏（平塚市福祉総務課地域福祉担当、発達障害 JL ニュース編集長他）

日時：平成29年9月16日（土）

参加費：会員—無料

受付：12:30～ 講演：13:00～16:00

一般—500円

会場：おださかプラザ多目的ルーム（ラクアル・オダサカ 4階）

主催：相模原やまびこ会

## 《平成29年度夏季受託販売のお知らせ》

5月15日（月）より下記の受託販売を開始いたしました。ご協力をお願い致します。

- ① 島原小町（E-33）（化粧箱入り） 標準小売価格 3,465円 ➡ 2,400円
- ② 麺ごころ（F-40）（化粧箱入り） 標準小売価格 4,322円 ➡ 2,900円
- ③ 麺ごころ（F-50）（化粧箱入り） 標準小売価格 5,400円 ➡ 3,600円

※販売期間：平成29年5月15日～平成29年8月31日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10:00～午後4:00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話 042-755-5282

## 《新車紹介セールご協力のお願い》

～（株）クライム社様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、トヨタ、ホンダ、マツダ、三菱

新車購入の成約前に必ずNPO法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO法人れんきょう事務所まで（042-755-5282）

《株式会社クライムエヌシーデー社様よりご厚志いただきました。  
ありがとうございました。》

### <編集後記>

世の中も、私の周りも、福祉制度も変わって来ていて、それぞれの場面で多くの方々が関わってくださっています。れんきょうもその一員として参加させていただいており、私もその一角を担っており、責任をもった発言をと心掛けています。ところがこの一年の編集後記を読み返してみると、季節の移り変わりを綴っているばかりでした。あらためて、私には、どれだけの自覚があるのかな— — —と。反省 (M,S記)